

腹膜透析カテーテル抜去術を受けられる()さんへ

説明日(/) 説明者氏名()

STA02700110

月日(日時)	/	/		/	/ ~ /	/ ~ /
経過(病日等)	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2～7日目	術後8～11日目
達成目標	◇手術について理解ができる ◇精神的準備ができている	◇手術の準備ができる	◇全身状態が安定している ◇感染の徴候がない ◇安静を守ることができる ◇血圧が安定している ◇深部静脈血栓症の症状がない ◇疼痛コントロールができる			【退院基準】 ◇退院準備が整う ◇自己管理ができる
治療・薬剤 (点滴・内服)	寝る前に安定剤を飲みます 	()時に朝の薬を飲みます 手術に行く前に安定剤を飲みます 点滴の針を刺します 手術着に着替えます	痛みがある場合は痛み止めの点滴 または内服薬を使います 翌朝まで食事が食べられないため点滴をします 先生がお腹の音を確認した後に 夕方薬を飲みます  手術後傷口はテープで保護します 麻酔科の先生の指示で酸素投与を行います	傷口の感染を予防するために 抗生剤の点滴を行います 傷口を保護しているテープに 出血や滲出液が見られる場合 医師が付け替えを行います	術後2日目の抗生剤が終わり次第 点滴の針を抜きます 	入院中または退院後に抜糸を行い、 術後1週間～2週間ほどで退院となります 
処置	必要時お腹の毛を剃ります 爪を切ります	手術室から呼び出しがあり次第、 点滴と抗生剤をつなぎ4階の手術室へ 歩いていきます (状況に応じてストレッチャーで行きます)				
検査	レントゲン、心電図を行います	検査はありません				
活動・安静度	活動・安静度に制限はありません		翌朝までベッド上安静です 	先生の診察後に 手術前と同じ安静度に戻ります 初回歩行の時は転倒に注意しましょう	活動、安静度に制限はありません 	
安全	安全のためベッド柵を付けます ベッドにナースコールを設置します	安定剤を飲んだ後は ふらつくことがありますので注意してください	翌朝までベッド上安静のため ベッドからの転落に注意してください	手術後のため転倒に注意しましょう		
食事	治療食がですす ()時以降は食べられません ()時以降は水分がとれません	手術当日は1日絶食です (内服薬のある方は 朝に少量の水で薬をのみます) 	先生がお腹の音を確認した後に 水を飲むことができます 	治療食を再開します 間食を控えてください 		
清潔	シャワー浴・入浴ができます		身体拭きを行います 	身体を拭きます 傷口に防水テープを貼り シャワー浴ができます 	身体を拭いたり、 シャワー浴ができます 術後7日目から傷口のガーゼを 取って入浴ができます 	
排泄	いつも通りトイレを行います	手術後は翌朝までベッド上安静のため 尿管カテーテルを入れる場合があります	尿管カテーテルまたは尿器でトイレを行います	安静解除後尿管カテーテルを抜きます 以降はトイレの制限はありません		
患者様及び ご家族への 説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	入院案内・パスの流れについて説明します 手術に必要な物品の確認をします 排便状況について確認します 麻酔科医師の訪問があります 手術室の看護師の訪問があります 薬剤師から持参薬の確認があります	ご家族は家族待合室またはデイルームで 手術が終わるまで待機できます	医師から手術の経過について説明があります 不明な点があればお尋ねください 		術前と同じ曜日で 血液透析を行います 	先生の許可があれば退院となります 薬剤師から退院後の薬について説明を行います 退院後の生活での注意点の説明を行います ①おなかに圧をかけないように注意しまし う

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 腎臓内科 東棟9階病棟

2023年7月改訂